



**生きることを支援
～食事作りを通して～**

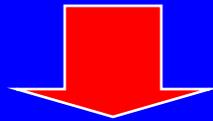
**医療法人 凌雲会
グループホーム親の家
介護福祉士 佐川美幸**

はじめに

《親の家の基本方針》

入居者は、介護を受ける人ではなく、生活の主役である。

入居者の心の動きに共感し、ありのままを受け止める。



入居者のリズムに合わせ、あたりまえの生活

取り組み・気づき

<献立決め>

何がいいかい
なあ

何が安いかい
なあ



【入居者の様子】

- 献立を上手くイメージ出来ない
- 他の人に気遣う
- お金を気にする
- 人任せ

【大事な事】

内に秘めたものを
導く

頭の中の献立表を
引き出す

新しい食べ物に
出会う機会を作る

献立を決める過程の会話を大切にする

<買い物>



これに
しょう
か

ちよっ
とー



<レジ>

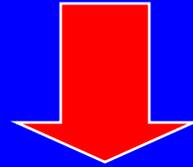




<調理>



「おかしい」と思っても、口に出せない



体調不良・病気

思った事・感じた事を表現出来る事は大切

喧嘩をしている姿は素敵

考察・まとめ

繰り返し同じ事を言う≠問題

繰り返しを続けていけば、

素晴らしい自信の素 になる

説明しても理解出来ず、とんちんかんな言動もたくさんあり、周囲から見れば迷惑であるが、私達が「迷惑な存在」と思って入居者から**ドキドキ感**や**ハラハラ感**を奪ってしまうと認知症老人を閉じ込めてしまう事になる。

病院

行動障害

- 徘徊・一人で外へ出る
- ・介護への抵抗・大声を出す
- ・昼夜逆転・せん妄

周りから見れば、その事が問題に見え、
迷惑になるので対応策を考えていた。

親の家

行動障害を問題だと思ふ事に
問題があると気付かされた。

その言動には必ず理由がある。理由を探り、
原因を見つけサポートする。

↓

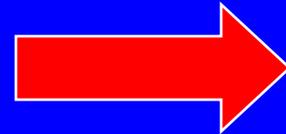
混乱した不安な心が
落ち着けば、普通の
生活が出来る

↓

心が動けば、
体も動く

<生きること（への支援）とは？>

自分の事は自分でしたい
人に迷惑を掛けたくない



生きる姿

入居者同士・入居者とスタッフ・入居者と家族など、人と人が助け合って、社会と繋がって生きる。



ご清聴ありがとうございました。